

石鎚登山計画

雨、および雨の可能性の高い時は中止

1 日程 10月12日(月) 体育の日

7:00	起床・朝食
7:30	集合(学校教職員駐車場)・点呼 ⇒出発(マイクロバス)
9:30	土小屋着(WC)
10:00	登山開始(点呼)
12:30	山頂着(昼食・記念写真)
13:30	下山開始(点呼)
15:30	土小屋着(WC・記念写真)
16:00	土小屋発(マイクロバス)・点呼
18:00	トマス寮着

2 持参品

a) 寮が用意し各個人に配布します

昼弁当	山頂で食べます
お茶+スポーツ飲料水	各1本の計2本
簡易レインコート	突然の雨への対策 他のレインコートを持参できる場合は申し出てください。(傘はだめ)

b) 各個人で準備してください

リュック (ナップザック)	肩でかつぐもの(両手が使えるように)
靴	運動靴など ※テニスシューズは底がすべるので危険 ※靴擦れ対策(新しい靴は慣らしておく)
ズボン	トレパンなど、足を上げやすいズボン (Gパンはだめ)
服	秋山は温度の幅が大きい(冬なみの可能性) Tシャツ、長袖シャツ、上着(ウインドブレーカー=カッパでも可、フリースやセーターなど)⇒重ね着
その他	帽子・タオル・ビニール袋(ゴミ入れ用) 水筒・手袋(なくてもよい) ハンカチ・ティッシュ

c) 寮務部の持参品

- ① 救急用品一式(医薬品、テープ等)
- ② ハンドマイク、笛

3 注意事項

全体に	①時間厳守 ②点呼への協力(班単位) ③ごみは全て持ち帰る ④ガム禁止
バスで	①乗り物酔い対策を(弱い人は出発前に薬を服用しておく) ②バス内では飲食禁止(バスは学校からの借り物です)
登山中に	①山頂周辺は周囲が断崖絶壁であり、慎重に行動すること。 ②単独行動、勝手な行動は禁止(必ず指導者の指示に従うこと) ③他の登山者への配慮:追い越さない、道を譲る(登山客多い=紅葉シーズン) ④下り道に注意(事故多発)、浮き石に乗らない(景色よりも足下を見る) ⑤鎖は使用しない(迂回路を使用する)

4 費用(概算)※小遣い台帳から差し引きます

バス代(松山=土小屋)往復	1000円
弁当代(通常の昼食との差額)	300円
お茶500ml + スポーツ飲料500ml	210円
傷害保険・賠償保険	150円
簡易レインコート	200円
合計 1860円	

5 募集〆切=9月28日(土)

- ①中2~高IIの50名(中1は他の行事との関係で不可)中高の比率は申し込み人数次第で調整します、多数の場合は抽選
- ②保護者と必ず相談し、広報の申込用紙を9/28までに寮受付に提出。
- ③さらに、参加する者は保護者の同意書の郵送が必要です。愛光HPの「寮からのお知らせ」から用紙をダウンロードして、愛光学園寮務部石鎚山係あてに10/3(土)必着で郵送してもらって下さい。
- ④運動部員は新人戦の練習予定などもよく考えた上で申し込んでください。

石鎚山は、四国に位置する標高1,982mの山で、白山以西の西日本最高峰である。石鎚山は、山岳信仰(修驗道)の山として知られる。日本百名山、日本百景の一つであり、日本七霊山のひとつとされ、霊峰石鎚山とも呼ばれる。石鎚山脈の中心的な山であり、石鎚国定公園に指定されている。

正確には、最高峰に位置する天狗岳(てんぐだけ、標高1,982m)・石鎚神社山頂社のある弥山(みせん、標高1,974m)・南尖峰(なんせんぽう、標高1,982m)の一連の総体山を石鎚山と呼ぶ。石鎚山の頂は、通常は天狗岳のことを指す。登山者は天狗

岳を目指すものが多いが、弥山から天狗岳までの登山道が少し狭いことや、天狗岳の頂に多人数がとどまるるスペースがないこともあり、子供やお年寄りは直前(約300m手前)の弥山までの登山となることが多い。なお弥山には、石鎚神社の鎮座のほか山頂小屋がある。

弥山山頂まで3箇所の鎖場があり、下から「一の鎖」(33メートル)、「二の鎖」(65メートル)、最後は「三の鎖」(67メートル)と続くが迂回路もある。また「一の鎖」の手前に前社ヶ森の岩峰にかかる「試しの鎖」(48メートル)があり、これが最も急勾配である。山頂からは瀬戸内海、および土佐湾、見通しのよい日には大山を始とする中国山地、九州の久住連山まで望むことができる。(Wikipediaより)

